



2024年3月20日

世田谷区立希望丘青少年交流センター（アップス）

加藤 富美江

「せたがや大人図鑑」にゲストとして参加しました。

世田谷区立希望丘青少年交流センター（アップス）では、世田谷区にゆかりのある魅力的な大人をゲストに迎えた「せたがや大人図鑑」を開催されています。一風変わったお仕事や活動をしている大人たちと交流することで、青少年のみなさんが、何か気づきを得られればいいな、ということで、様々なお仕事の方がゲストとして参加されています。

この度スフィード世田谷 BFC は障がい者スポーツをする選手として、お招きいただき、駒崎選手、稲田選手が参加いたしました。

当日のお天気は朝から寒い雨で、参加してくれる方がいるか心配でしたが、アップスはいつもと変わらず大勢の子どもたちでいっぱいでした。そこで選手がユニフォーム姿で“今日はブラインドサッカーの体験会があります！みんな来てね！”と声をかけて歩くと、みんな目が不自由な選手やブラインドサッカーのボールに興味津々。“参加しようよ”と友達同士で声をかけあっているのが聞こえました。

体験会には小学生から30代までの約30名の方が参加して頂きました。アイマスクをつけて、全力で走ったり、音をたよりに場所を確認したり、すぐに上手くできるようになって驚きました。また、私たちが“ボイ（Voy）”と言っているのを聞いて、自然にみんなも“ボイボイ”と声で仲間を誘導することもできていました。

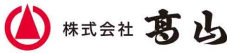
一通り体験したあとの選手への質問コーナーでは、パスはどうするのか、相手と仲間をどう区別しているのか、ボイってどういう意味なのか、など活発な質問が続きました。またやってみたいという感想も多くいただきました。

小学生から30代の体験会という事で、私たちもとても勉強になる1日でした。アップスの皆様、貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました





Eat We I, Live Well.



日本ハムマーケティング株式会社



スフィード世田谷FCは上記の各社様ご協賛頂きSDGs活動を行っています。